

第 1 7 回 全 日 本 ユ ー ス ラ イ フ セ ー ビ ン グ 選 手 権 大 会

実施報告書

ゴールの先に、救う **生命** がある

- ◆ 趣 旨 ライフセービング競技会は、ライフセーバーの“技術と体力”を競い合うことが目的である。加えて、競技会を通しての人々との交流、そしてライフセービング活動の普及をも取り込んだ大切な事業である。

我が国のライフセーバーを対象とした競技会には、「全日本ライフセービング選手権大会」を頂点とするオーシャン競技会と、「全日本プール競技選手権大会」に代表されるプール競技会がある。これらの競技会は、“水辺の事故、ゼロ”をめざすライフセービング活動の“安全・迅速・正確”を、その根幹において実施されている。

本大会は、全国のライフセーバーの競技力の向上と青少年の健全な育成、クラブ組織の強化と交流、そしてライフセービング活動の普及を目的として開催される。

- ◆ 名 称 第17回全日本ユースライフセービング選手権大会

- ◆ 日 程 2025年10月4日（土）～10月5日（日）

- ◆ 場 所 白浜大浜海岸（静岡県下田市）

- ◆ 主 催 公益財団法人日本ライフセービング協会

- ◆ 後 援 静岡県、下田市

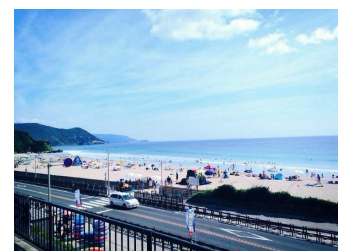


- ◆ 協 力 一般社団法人下田市観光協会、認定特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会、特定非営利活動法人下田ライフセービングクラブ

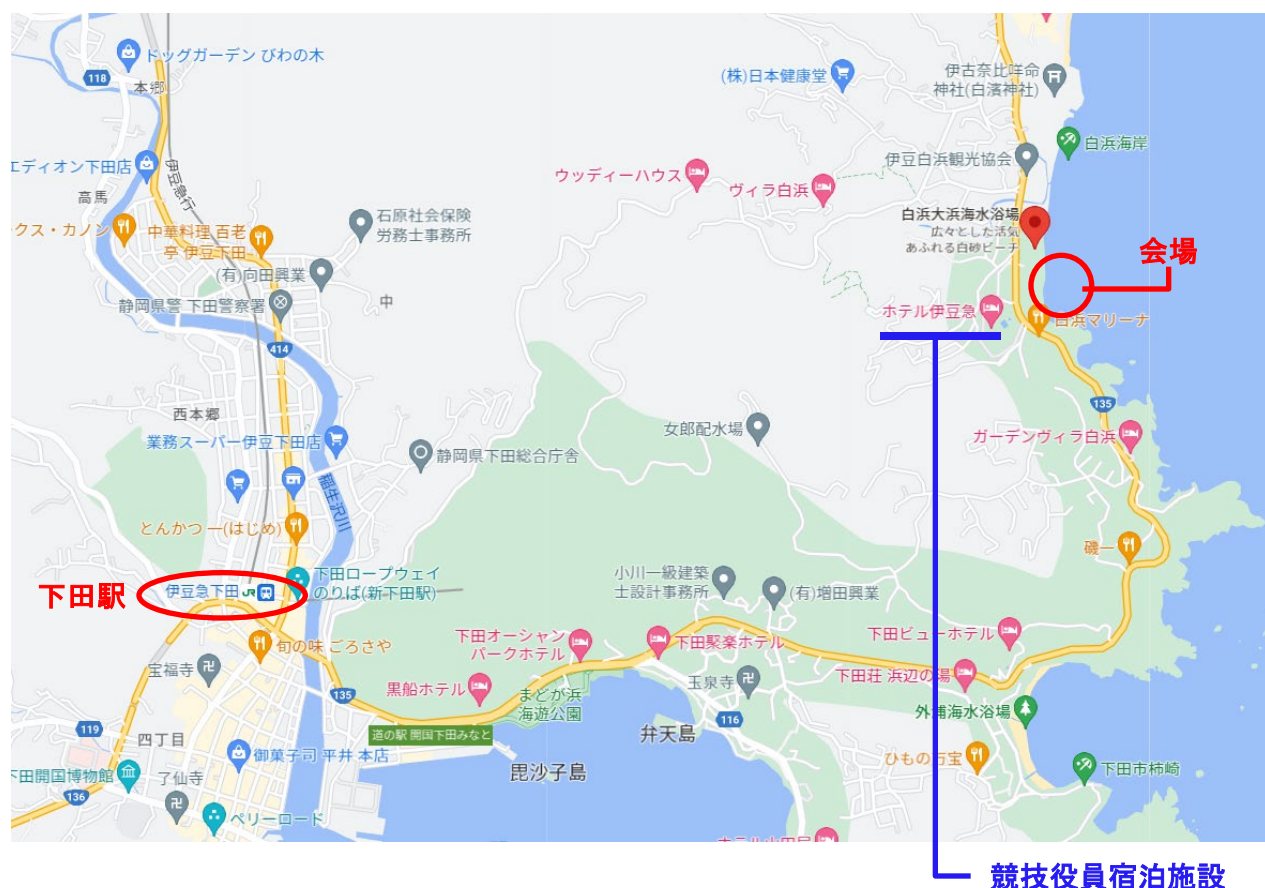
- ◆ 助 成 独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ振興くじ助成事業



- 名称 白浜大浜海水浴場
南北に約800メートルの長さの広々とした開放感あふれる伊豆半島最大の海水浴場です。白浜の中でもメインの海水浴場で環境省選定の「快水浴場百選」として認定されています。若い世代からファミリーまで幅広く人気があり、真っ白な砂とスカイブルーの海を求めて毎年多くの人が訪れます。海開きは7月ですが、天気良ければゴールデンウィークから9月半ばまで泳ぐことができ、お盆を過ぎてもクラゲはほとんどいないので、快適に海水浴を楽しめます。
- 所在地 静岡県下田市白浜【電車】
- アクセス 最寄駅
伊豆急下田駅から2.9km
蓮台寺駅から3km
バス停
原田口バス停から徒歩1分（59m）



■アクセス図





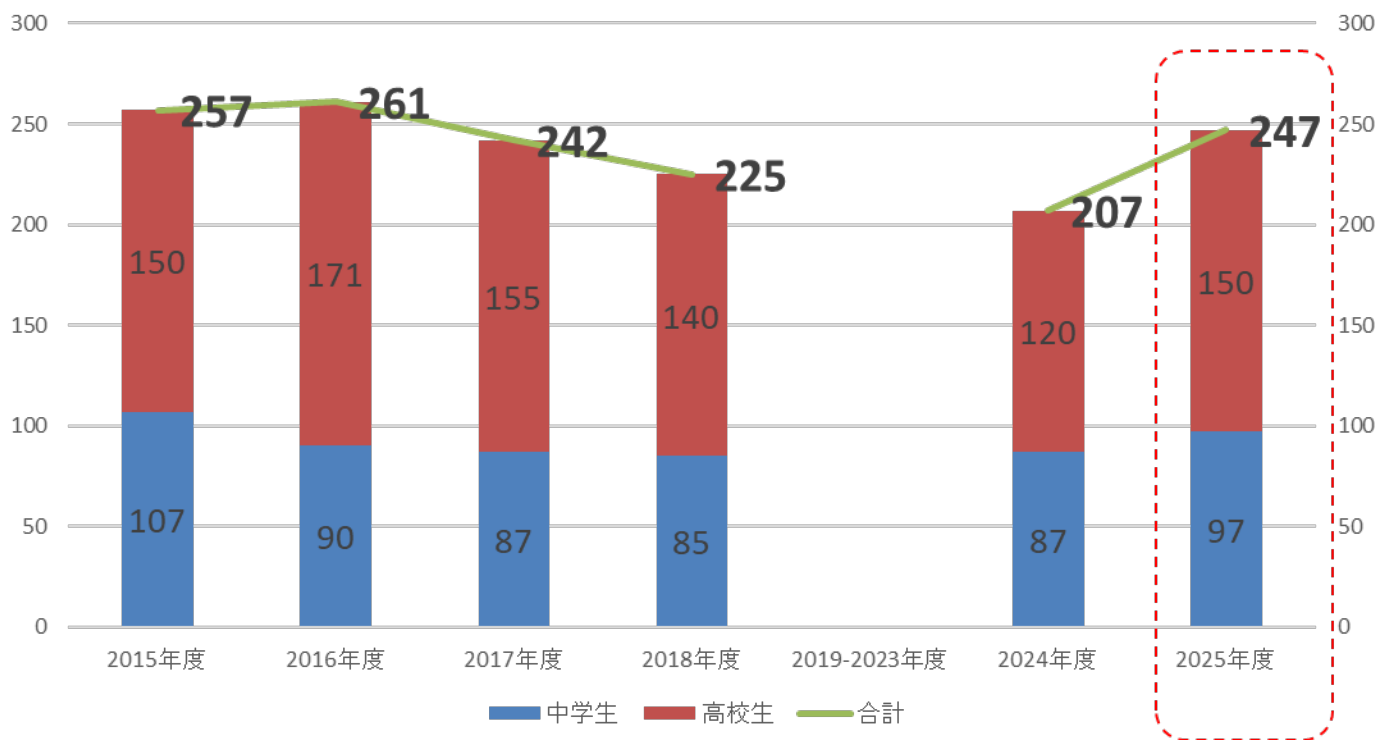
大会関係者

●大会役員					
大会会長	入谷 拓哉	(日本ライフセービング協会 理事長)			
大会副会長	高野 絵美	(日本ライフセービング協会 副理事長)			
	松本 貴行	(日本ライフセービング協会 副理事長)			
大会役員	石川 仁憲	(日本ライフセービング協会 常務理事)			
	田村 憲章	(日本ライフセービング協会 常務理事)			
	平野 玲奈	(日本ライフセービング協会 理事)			
	鎌田 綾子	(日本ライフセービング協会 理事)			
	白井 勇喜	(日本ライフセービング協会 理事)			
	中川 容子	(日本ライフセービング協会 理事)			
	細田 直彦	(日本ライフセービング協会 理事)			
●大会委員会					
委員長	上野 凌	(ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ戦略委員長)			
委員	田村 憲章	(ライフセービングスポーツ本部長)			
	青木 将展	(ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ育成委員長)			
	中島 典子	(ライフセービングスポーツ副本部長)			
	西山 俊	(アスリート委員長)			
	斎藤 健一郎	(アスリート委員)			
	篠 岳瑠	(アスリート委員)			
	板垣 俊輔	(競技安全委員長)			
	毛利 智	(競技審判委員長)			
	小野 稜平	(競技運営委員長)			
	坂部 琢	(下田ライフセービングクラブ)			
	森井 遼	(下田ライフセービングクラブ)			
	高野 絵美	(広報室長)			
	水川 雅司	(事務局)			
	中村 萌夏	(事務局)			
●規律委員会					
委員長	上野 凌	(ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ戦略委員長)			
委員	田村 憲章	(ライフセービングスポーツ本部長)			
	青木 将展	(ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ育成委員長)			
	水川 雅司	(事務局)			
●安全対策委員会					
委員長／セーフティオフィサー	板垣 俊輔	(競技安全委員長)			
委員	上野 凌	(ライフセービングスポーツ副本部長／スポーツ戦略委員長)			
	田村 憲章	(ライフセービングスポーツ本部長)			
	坂部 琢	(下田ライフセービングクラブ)			
	水川 雅司	(事務局)			
●上訴委員会					
委員長	水川 雅司				
委員	上野 凌 04				
	青木 将展 05				
	中島 典子 05				
●競技役員					
チーフレフリー	泉田 昌美				
コンペティター・リエゾンオフィサー	坂本 千佳子				
コーススーパーバイザー	坂本 陸				
<ビーチエリア>					
セクショナルレフリー	日馬 孝昌				
マーシャル	○杉野 恵美乃	浜島 花菜子			
スターター	○斎藤 健一郎	伊藤 正泰			
コースジャッジ	○平藤 昌寛	中澤 貫太	山崎 恵里佳	川崎 真知	古屋 凜夏
	熊谷 拓也	小島 羽呼	川端 穂美	八谷 侔愛	石野 夏未
	木村 諒平				
レコーダー	○大山 ルミ	近藤 柚妃			
<オーシャンエリア>					
セクショナルレフリー	宮川 悠斗				
マーシャル	○小林 悠	山本 蘭花			
スターター	○坂本 靖	塩田 恒心			
コースジャッジ	○鈴木 崇大	武内 瑠那	吉田 孝也	廣井 柚樹	内藤 幸恵
	大野 俊秀	斎藤 優心	橋本 実歩	村井田 怜花	水野 隼
レコーダー	○森田 桃子	横井 暖菜			
<ビデオ記録員>					
	○河地 秀明	大久保 良祐	佐々木 柊	渡邊 瑠奈	
<IRB審判員>					
	○渡辺 幸男	上野 義洋	井藤 秀晃		
●総務関連					
安全課	下田ライフセービングクラブ				
	溝上 晴斗	佐川 誠也	小笠原 煌大	宮本 大輝	小林 巧
	村松 健	友部 真也			
競技安全委員会	板垣 俊輔	天野 駿介	金川 もも	高橋 颯	宮井 伯武
医務	朽方 規喜				
トレーナー	国際武道大学トレーナーチーム				
スポーツ育成委員会	青木 将展	植木 将人	小林 海	坂本 陸	萱本 康隆
	楠本 佳凪子	具志堅 タ	清水 伸子		
学生委員会	(調整中)				
運営協力	合同会社エフォートプラス				
事務局／競技運営システム(Liveheats)対応	水川 雅司	中村 萌夏			

大会参加人数及び観覧者数

■ 選手人数	:	247名
■ 審判員	:	41名
■ スタッフ	:	47名

近年の参加状況



2019年～2023年度までは、「オーシャン」「ビーチ」カテゴリーを、別々に開催している為、上記に数値を反映しておりません。



大会参加チーム

No	チーム正式名称	U15			U18			計
		女子	男子	計	女子	男子	計	
1	十文字中学・高等学校ライフセービングクラブ	15	0	15	6	0	6	21
2	昭和第一学園高等学校ライフセービング部	0	0	0	3	12	15	15
3	成城学園高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	21	17	38	38
4	日本体育大学荏原高等学校ライフセービングクラブ	0	0	0	16	26	42	42
5	柏崎ライフセービングクラブ	2	0	2	2	0	2	4
6	勝浦ライフセービングクラブ	3	0	3	0	0	0	3
7	鎌倉ライフガード	7	7	14	1	0	1	15
8	キタジマアクアティクス	7	4	11	4	2	6	17
9	下田ライフセービングクラブ	3	2	5	0	3	3	8
10	湘南GoldenAgeアカデミー	6	5	11	0	0	0	11
11	湘南ひらつかライフセービングクラブ	1	0	1	1	1	2	3
12	逗子サーフライフセービングクラブ	0	1	1	0	0	0	1
13	館山サーフライフセービングクラブ	3	5	8	2	4	6	14
14	銚子ライフセービングクラブ	0	0	0	0	3	3	3
15	西浜サーフライフセービングクラブ	11	5	16	10	10	20	36
16	牧之原ライフセービングクラブ	0	1	1	0	0	0	1
17	三浦サーフライフセービングクラブ	0	0	0	0	1	1	1
18	盛岡ライフセービングクラブ	3	2	5	1	4	5	10
19	由比ガ浜サーフライフセービングクラブ	0	1	1	0	0	0	1
20	湯河原ライフセービングクラブ	0	3	3	0	0	0	3

247

U15	
女子	61
男子	36
合計	97

U18	
女子	67
男子	83
合計	150



大会タイムテーブル

1日目 2025年10月4日(土) (日の出5:40/日の入17:24)

開始	種目名	カテゴリ	区分	H数	UP数	開始	種目名	カテゴリ	区分	H数	UP数
6:30	安全役員会議/実行委員会										
6:45	★選手リストバンド登録受付開始【全選手対応必須】★					種目ごとの「ヒート数」と「アップ数」(次ラウンドへ勝ち進める人数)を表記しました。 例えば、サーフレース(U15女子)予選であれば、全部で2ヒートあり、各ヒートの上位16名が決勝進出、...という意味合いになります。					
7:00	選手ウォーミングアップ開始										
	競技役員集合/打ち合わせ										
7:50	選手リストバンド登録受付終了										
8:00	開会式										
オーシャンエリア						ビーチエリア					
8:30	サーフレース	(U15女子)	予選	2H	16UP	8:30	ビーチスプリント	(U18男子)	予選	4H	4UP
8:50	サーフレース	(U18男子)	予選	2H	16UP						
						9:00	ビーチリレー	(U18女子)	予選	2H	4UP
9:20	サーフレース	(U18女子)	予選	2H	16UP						
						9:25	ビーチスプリント	(U18男子)	準決勝	2H	4UP
						9:45	ビーチスプリント	(U18女子)	予選	2H	4UP
9:50	ボードレース	(U18男子)	予選	2H	8UP						
10:05	ボードレース	(U18女子)	予選	3H	1H:6UP 2,3H:5UP	10:05	ビーチスプリント	(U15女子)	予選	3H	3UP
						10:20	ビーチスプリント	(U15男子)	予選	3H	3UP
10:30	ボードレース	(U15女子)	予選	2H	8UP						
10:45	ボードレース	(U15男子)	予選	2H	8UP						
						11:00	ビーチリレー	(U18女子)	決勝		
						11:05	ビーチリレー	(U18男子)	決勝		
						11:10	ビーチリレー	(U15女子)	決勝		
11:15	ボードレスキュー	(U18女子)	予選	2H	4UP	11:15	ビーチリレー	(U15男子)	決勝		
11:30	ボードレスキュー	(U18男子)	予選	2H	4UP						
11:45	ボードレスキュー	(U15女子)	予選	2H	4UP						
12:00	(昼休憩)										
						12:10	ビーチスプリント	(U15女子)	決勝		
						12:15	ビーチスプリント	(U15男子)	決勝		
						12:20	ビーチスプリント	(U18女子)	決勝		
						12:25	ビーチスプリント	(U18男子)	決勝		
12:35	ニツパーボードレース	(U15女子)	決勝			12:30	(昼休憩)				
12:45	ニツパーボードレース	(U15男子)	決勝								
12:55	ボードレース	(U15女子)	決勝								
13:05	ボードレース	(U15男子)	決勝								
13:15	ボードレース	(U18女子)	決勝								
13:25	ボードレース	(U18男子)	決勝								
13:50	ボードレスキュー	(U15女子)	決勝								
14:00	ボードレスキュー	(U15男子)	決勝								
14:10	ボードレスキュー	(U18女子)	決勝								
14:20	ボードレスキュー	(U18男子)	決勝								
14:45	サーフレース	(U15女子)	決勝								
14:55	サーフレース	(U15男子)	決勝								
15:05	サーフレース	(U18女子)	決勝								
15:15	サーフレース	(U18男子)	決勝								
						15:25	ビーチラン(2km)	(U18女子)	決勝		
						15:40	ビーチラン(2km)	(U18男子)	決勝		
16:00	表彰式①										
16:40	競技終了										



大会タイムテーブル

2日目 2025年10月5日(日)

(日の出5:41/日の入17:23)

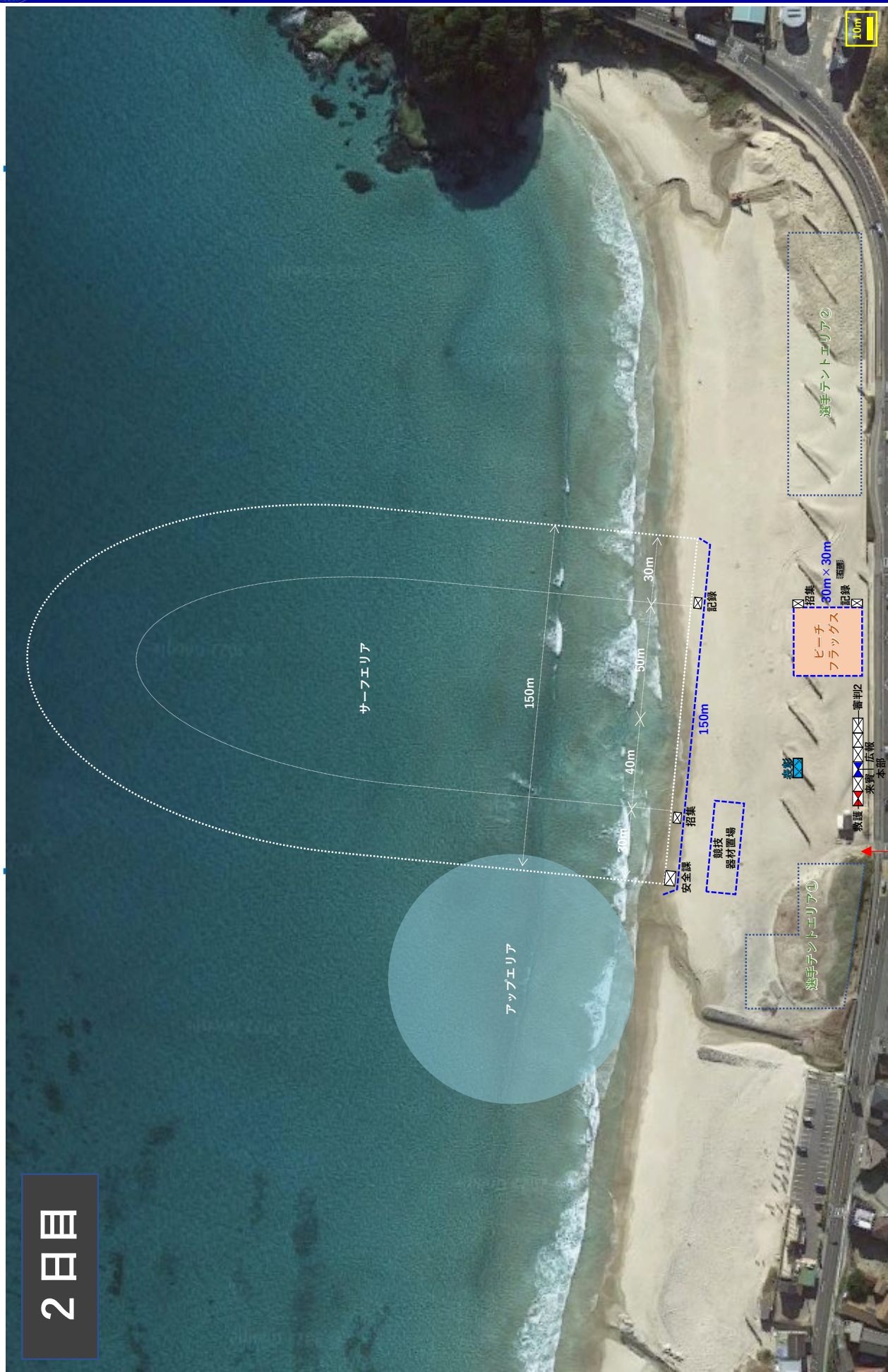
開始	種目名	カテゴリ	区分	H数	UP数	開始	種目名	カテゴリ	区分	H数	UP数
6:30	安全役員会議/実行委員会										
7:00	★選手リストバンド登録受付開始【前日未登録者のみ】★										
	選手ウォーミングアップ開始										
	競技役員集合/打ち合わせ										
7:40	選手リストバンド登録受付終了										
オーシャンエリア						ビーチエリア					
						7:50	ビーチラン(1km)	(U15女子)	決勝		
8:00	レスキューチューブレスキュー	(U18女子)	予選	2H	4UP	8:00	ビーチラン(1km)	(U15男子)	決勝		
						8:10	ビーチフラッグス	(U18男子)	予選	4H	4UP
8:40	ユースオーシャンウーマン	(女子)	予選	2H	8UP					↑ 4ランスルー実施	
9:10	ユースオーシャンマン	(男子)	予選	2H	8UP	9:10	ビーチフラッグス	(U18女子)	予選	3H	3UP
										↑ 5ランスルー実施	
						10:05	ビーチフラッグス	(U15男子)	予選	2H	4UP
10:20	ユースオーシャンウーマン	(女子)	決勝							↑ 4ランスルー実施	
10:35	ユースオーシャンマン	(男子)	決勝								
						10:40	ビーチフラッグス	(U15女子)	予選	3H	3UP
10:50	サーフスキーレース	(U18女子)	決勝							↑ 5ランスルー実施	
11:00	サーフスキーレース	(U18男子)	決勝								
11:20	レスキューチューブレスキュー	(U15男子)	決勝								
						11:25	ビーチフラッグス	(U18男子)	2次予選	2H	4UP
11:35	レスキューチューブレスキュー	(U18女子)	決勝							↑ 3ランスルー実施	
11:50	レスキューチューブレスキュー	(U18男子)	決勝								
						12:00	ビーチフラッグス	(U18女子・男子)	決勝		
12:05	レスキューチューブレスキュー	(U15女子)	決勝								
12:20	タップリンリレー	(U15女子)	決勝								
12:35	タップリンリレー	(U15男子)	決勝								
12:50	(昼休憩)					12:50	ビーチフラッグス	(U15女子・男子)	決勝		
13:40	オーシャンウーマン	(U18女子)	決勝			13:40	(昼休憩)				
14:00	オーシャンマン	(U18男子)	決勝								
14:20	オーシャンウーマンリレー	(U18女子)	決勝								
14:40	オーシャンマンリレー	(U18男子)	決勝								
						15:00	3×1kmビーチランリレー	(U15女子・男子)	決勝		
						15:15	3×1kmビーチランリレー	(U18女子・男子)	決勝		
15:40	表彰式②										
16:30	競技終了										

ビーチフラッグスでは、「最大何回走るか?」を表記しました。

例えば、ビーチフラッグス(U18男子)予選であれば、各ヒート上位4人に残るためには、最大4回のランスルーを実施する、という意味合いになります。



2日目



Title: 第17回全日本ユーススライフセービング選手権大会

Place: 白浜大浜海岸 (静岡県下田市)

Date: 2025/10/4-5

EP

Create an event with you
エフォートプラス

一般観覧の皆様へ

この大会では、入場制限を設けておりません。ぜひとも選手の皆様の活躍を現地会場にてご観覧ください！

競技会中における撮影・応援は、次のルールを必ずお守りください！

① 一般観覧の皆様における撮影は、ご遠慮いただいております！

② 入場時の検温チェック等はいりません。また、会場内のマスク着用は個人の判断となります。ただし体調が優れない場合はご来場をお控えいただくようお願いいたします。

- * 競技会を取材・撮影いただける方を限定しております。
 - * 取材撮影をご希望のマスコミ・メディアの方は、事前申請を行ってください。
 - * 媒体があるマスコミ・メディア以外の方は申請・撮影できません。
- 詳しくは <https://jla-lifesaving.or.jp/media/>



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会

チーム関係者の皆様へ【撮影・応援について】

競技会中における撮影・応援は、次のルールを必ずお守りください！

① 必ずチームユニフォームを着用してください！

② 各チームのSNSに投稿をする場合、チーム外の人が写っている写真・動画のアップロードはお控えください（配慮をお願いします）。

③ 競技エリアの中には、絶対に立ち入らないでください！

④ 上記が守られていない場合は、大会実行委員会からお声がけすることがあります。

- * 競技会を取材・撮影いただける方を限定しております。
 - * 取材撮影をご希望のマスコミ・メディアの方は、事前申請を行ってください。
 - * 媒体があるマスコミ・メディア以外の方は申請・撮影できません。
- 詳しくは <https://jla-lifesaving.or.jp/media/>



水辺の事故ゼロをめざして
日本ライフセービング協会



第17回全日本ユースライフセービング選手権大会

2025年10月4日（土）～5日（日） 於：白浜大浜海岸（静岡県下田市）

※同得点チームの順位は、各競技の上位入賞数の違いによる。

チーム総合成績 ユース（U15）

順位	チーム名	得点
1	西浜サーフライフセービングクラブ	209
2	鎌倉ライフガード	178
3	湘南GoldenAgeアカデミー	140
4	キタジマアクアティクス	52
5	湯河原ライフセービングクラブ	46
6	十文字中学・高等学校ライフセービングクラブ	39
7	勝浦ライフセービングクラブ	26
8	館山サーフライフセービングクラブ	21
9	湘南ひらつかライフセービングクラブ	9
10	下田ライフセービングクラブ	8
11	盛岡ライフセービングクラブ	5
12	柏崎ライフセービングクラブ	4
13	牧之原ライフセービングクラブ	3
14	昭和第一学園高等学校ライフセービング部	0
14	成城学園高等学校ライフセービングクラブ	0
14	日本体育大学荏原高等学校ライフセービングクラブ	0
14	逗子サーフライフセービングクラブ	0
14	銚子ライフセービングクラブ	0
14	三浦サーフライフセービングクラブ	0
14	由比ガ浜サーフライフセービングクラブ	0

※個人種目、チーム種目の結果は、ホームページをご覧ください。



第17回全日本ユースライフセービング選手権大会

2025年10月4日（土）～5日（日） 於：白浜大浜海岸（静岡県下田市）

※同得点チームの順位は、各競技の上位入賞数の違いによる。

チーム総合成績 ユース（U18）

順位	チーム名	得点
1	西浜サーフライフセービングクラブ	274
2	日本体育大学荏原高等学校ライフセービングクラブ	205
3	成城学園高等学校ライフセービングクラブ	112
4	館山サーフライフセービングクラブ	103
5	十文字中学・高等学校ライフセービングクラブ	35
6	鎌倉ライフガード	30
7	昭和第一学園高等学校ライフセービング部	21
8	キタジマアクアティクス	13
9	柏崎ライフセービングクラブ	12
10	銚子ライフセービングクラブ	11
11	湘南GoldenAgeアカデミー	8
12	三浦サーフライフセービングクラブ	7
13	下田ライフセービングクラブ	3
14	勝浦ライフセービングクラブ	0
14	湘南ひらつかライフセービングクラブ	0
14	逗子サーフライフセービングクラブ	0
14	牧之原ライフセービングクラブ	0
14	盛岡ライフセービングクラブ	0
14	由比ガ浜サーフライフセービングクラブ	0
14	湯河原ライフセービングクラブ	0

※個人種目、チーム種目の結果は、ホームページをご覧ください。







第17回全日本ユース ライフセービング選手権大会

スポーツ★ WINNER 2025 10.4(土)~5(日) 白浜大浜海岸(静岡県下田市)



GREETING

ご挨拶



公益財団法人日本ライフセービング協会
理事長
入谷 拓哉

第17回全日本ユースライフセービング選手権大会を開催するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

この夏の期間、水辺等での悲しい事故の報告がいくつかありました。全国でライフセーバーが事故防止に懸命に取り組んでくれましたが、それでも防ぐことができなかったことを思うと、とても残念でなりません。

そうした悲しい事故を未然に防ぐには「教育」が大切であり、特に子どもたちへのアプローチが最も重要であると私たちは考えています。JLAの活動理念の一つである、「スイム&サバイブ」(水辺の危険を理解し生きる力を学ぶ)があります。水の特性を知り、さらに水辺にはどのような危険があるのかを十分理解し、泳ぎの基本を学ぶことと同時にその危険に自ら対処する方法を体得していれば、いろいろな活動体験を通じて安心して多くの学びや感動を得ることができます。これらの様々な活動を通じて、「楽しみながら安全を考えて行動できる能力」を身につけるための教育を進めています。

一方でライフセービングスポーツに目を向けると、今大会の会場である白浜大浜海岸(静岡県下田市)は、遡ること33年前の1992年、国際ライフセービング連盟が主催する世界選手権「Rescue'92」が開催された場所でもあります。国内外にライフセービングの認知を大きく広める国際的なイベントとなり、日本におけるライフセービングの普及に大きな影響を与えました。スポーツを楽しむ、勝ち負けに一喜一憂しながらも、その先にある自助能力や互助能力、ひいては救助力の向上に繋げて欲しいと願っております。それら一つひとつの行動によって水辺の事故が一つも減ることに期待いたします。

本年11月には、ニュージーランドにおいて開催が予定されている「International Surf Rescue Challenge 2025」において、日本代表として計23名の日本人選手の派遣を予定しています。この中にはユース世代の選手11名が選出されています。競技会に参加する全ての選手におかれましてはこうした世界レベルを見据えて、日頃のトレーニングに励んでいただくことを期待しています。

結びにあたり、本大会を開催するにあたり、ご尽力賜りました関係諸機関、関係各位に対しまして、御礼と感謝を申し上げます。

第17回全日本ユースライフセービング選手権大会

Japan Youth Lifesaving Championships

■日時場所 2025年10月4日(土)~5日(日) 白浜大浜海岸(静岡県下田市)

■主催 公益財団法人日本ライフセービング協会

■後援 静岡県、下田市

■協力 一般社団法人下田市観光協会、
認定特定非営利活動法人静岡県ライフセービング協会、
特定非営利活動法人下田ライフセービングクラブ

■助成 独立行政法人日本スポーツ振興センター スポーツ★ WINNER 2025

■参加数 27チーム 317名

チーム	U15	U18	計
1 文武中学・高等学校ライフセービングクラブ	15	6	21
2 徳島県立高等学校ライフセービング部	0	15	15
3 兵庫県立高等学校ライフセービングクラブ	0	38	38
4 日本体育大学付属高等学校ライフセービングクラブ	0	42	42
5 福岡ライフセービングクラブ	2	2	4
6 福岡ライフセービングクラブ	3	0	3
7 鎌倉ライフガード	14	1	15
8 キタシマアカデミクス	11	6	17
9 下田ライフセービングクラブ	5	3	8
10 湘南GoldenAgeアカデミー	11	0	11
11 湘南むらつかりライフセービングクラブ	1	2	3
12 茨城県ライフセービングクラブ	1	0	1
13 徳島県ライフセービングクラブ	8	6	14
14 茨城県ライフセービングクラブ	0	3	3
15 西宮サーフライフセービングクラブ	16	20	36
16 救急隊員ライフセービングクラブ	1	0	1
17 三浦サーフライフセービングクラブ	0	1	1
18 福岡ライフセービングクラブ	5	5	10
19 山比呂サーフライフセービングクラブ	1	0	1
20 福岡県ライフセービングクラブ	3	0	3
	97	150	247名

